参考資料3

「新しい福島県総合計画 中間整理案」に関する意見とその対応（市町村）

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
1	南会津町	1	11	17	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	田島祇園祭→会津田島祇園祭	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 「会津田島祇園祭」
2	南会津町	1	11		第1章　ふくしまの特性と時代潮流	田島祇園祭→会津田島祇園祭	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 「会津田島祇園祭」
3	本宮市	1	15	11	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	【内容】人口流出に対する視点を見直す必要がある。 【理由】人口流出に歯止めをかけるためには、首都圏並みの多様な雇用の場を確保することが必要不可欠であるため。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘の視点については、「豊かな自然環境、多様な産業構造や東北圏と首都圏の結節点といった強みを生かし、今後、子育て環境を含めた本県の総合的な魅力を高めていく」なかに含めておりますので、ご理解願います。
4	本宮市	1	22	17	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	【内容】ライフスタイルや価値観の多様化を受け入れるだけではなく、モデルを発信する必要がある。 【理由】受け入れるだけでは福島の魅力は生まれないと思われるため。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘の趣旨は、ふくしまの特性や時代認識を踏まえた3つの基本姿勢において提示しておりますので、ご理解願います。
5	本宮市	1	23	15	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	【内容】地域医療に対する今後の展望と医療保険制度改革に対する県の姿勢を明記してはどうか。 【理由】9～11行目の地域医療に関する諸問題の現状説明に対する「②今後の展望」の説明が不足しているため。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘の内容は、第3章「ふくしまの基本方向」で記載しています。なお、医療保険制度改革については、国などでの議論も踏まえて検討してまいります。
6	いわき市	3	61	33	第3章　ふくしまの基本方向	【変更案】 ○　長年にわたって活用してきた道路、河川、上下水道、港湾、公営住宅などを計画的な維持管理を図ることにより、次の世代になっても、安心して使えるように継承していきます。 ※ 下水道 ⇒ 上下水道 に語句の変更。 （理由） 水道事業も本市に限らず、拡張から維持管理の時代へ移行するとともに、施設の耐震化などを増進し、常に安全で良質な水道水を安定的に供給し、次世代に健全な姿で「水道」を引き継ぐ必要があるため。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「上下水道」
7	いわき市	5	77	6	第5章　政策分野別の重点施策	ⅳ　あづま総合運動公園などの都市公園の活用や総合型地域スポーツクラブの支援など、身近にスポーツに触れ親しむことのできる場の整備に努めます。 ※ 武道施設の整備についても、記述を加える。 （理由） 武道競技は、本県のスポーツ振興の柱の一つとなっており、より一層の武道競技の振興と競技力の向上が望まれているため。	○中間整理案のとおりとします。 文化・スポーツの振興については、政策分野別の重点施策において、あらゆる人が身近に文化・スポーツ活動に触れ親しむことができるようにすることとしておりますが、ご指摘の点については諸情勢を勘案し、今後も調査・研究してまいります。 なお、本項目はソフト面でのスポーツに触れ親しむことのできる環境整備を主とする項目であり、これらの施設の活用に限定されるものではないため、「あづま総合運動公園などの都市公園の活用や」の部分を削除する扱いといたします。
8	いわき市	5	84	5	第5章　政策分野別の重点施策	ⅴ　資源管理型漁業やつくり育てる漁業の展開により、持続可能な漁業を推進します。 ※ 漁業生産技術や漁場保全技術の開発などの新たな研究ニーズに対応した水産研究開発機関の整備についても、記述を加える。 （理由） 資源管理型漁業やつくり育てる漁業の展開を推進するには、漁業生産技術や漁場保全技術の開発などの研究推進が望まれているため。	○中間整理案のとおりとします。 資源管理型漁業やつくり育てる漁業の推進にあたっては研究開発等が重要と考えられますが、ご指摘の点については諸情勢を勘案し、今後も調査・研究してまいります。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
9	いわき市	5	90	8	第5章　政策分野別の重点施策	【変更案】 ｉ　地域医療の確保を図るため、地域の医療機関の役割に応じた連携強化を進めるとともに、民間医療機関との役割分担を踏まえ、市町村立医療機関等への積極的支援や県立病院の機能の充実を推進します。 （理由） 地域医療の確保を図るためには、市町村立医療機関等への支援を行うことにより、県立病院だけでなく、市町村立医療機関等も含めた公立病院全体の機能の充実を推進する必要があると考えられるため。	○中間整理案のとおりとします。 　ご指摘の趣旨は、地域の医療機関の役割に応じた連携強化を進めるに含めておりますので、ご理解願います。
10	いわき市	6	130		第6章　地域別の重点施策	【変更案】 1 施策の展開方向 多様な地域資源を生かした交流の促進 多彩な自然や特色ある拠点施設を生かし、観光をはじめとした広域的な交流の拡大を図るとともに、県内外、海外とを結ぶ広域交通体系の整備充実、小名浜港の一層の機能高度化など、連携、交流を支える基盤整備を進めます。 2 ④ 重点施策 ○ 多様な地域資源を生かした交流の促進 ・森・川・海・温泉等の豊かな自然やアクアマリンパーク、温泉レジャー施設などの特色ある拠点施設、首都圏に隣接する優位性を生かし、FIT圏域をはじめとする県内外の各地域との連携も図りながら、都市農村交流や定住・二地域居住を促進するとともに、広域観光の振興を図ります。 （理由） 1　観光振興により交流人口を拡大し、地域活性化を目指すことは本市にとって、極めて重要な課題であることから、観光に関する記述を明確にすべきと考えられるため。 2　首都圏に隣接する優位性を生かし、また、県内外の各地域との連携を図りながら、都市農村交流や定住・二地域居住を促進し、また、広域観光の振興を図るという施策の方向性については、異論ないが、本市の自然の特徴を表す際には温泉を欠くことはできず、また、民間ではあるが、その集客力、首都圏等での圧倒的な知名度等を考慮するとスパリゾート・ハワイアンズを想定した記述を入れるべきであると考えられるため。 　また、「広域交流圏の形成」より、「交流の促進」を目指すべきものとしたほうが、より具体的になり、県民にも分かりやすいとともに、他地域との記述の整合性も図れるものと考えられるため。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 施策の展開方向 「多様な地域資源を生かした<u>交流の促進</u>」 「多彩な自然や<u>温泉、</u>特色ある拠点施設など等を生かし、<u>観光をはじめとした</u>広域的な交流の拡大を図る 重点施策 「多様な地域資源を生かした<u>交流の促進</u>」 「森・川・海の豊かな自然や<u>温泉</u>、アクアマリンパークなどの特色ある拠点施設」
11	いわき市	9			その他（指標）	柱Ⅰ】いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」 1 地域に根ざした力強い産業の育成 ⑵ 農林水産業の持つ底力の発揮 （指標の名称） ・沿岸漁業産出額 ※ 沿岸漁業に偏らない指標とする。 （理由） 　沖合・遠洋漁業を含めた指標とするべきと考えられるため。 〔他県例〕 ・北海道水産業・漁村振興推進計画（第2期）（平成20年3月） 計画の目標を「漁業生産の目標」（海面漁業・養殖業・内水面の総計）としている。 ・水産業の振興に関する基本的な計画（宮城県）（平成21年2月） 数値目標について、漁業生産量、漁業生産額、漁業経営体数等6項目としている。	○中間整理案のとおりとします。 　沖合・遠洋漁業は国管理の漁業であり、県の施策が及ばないなかで変動するため、県の施策の達成度を図る指標には含めていません。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
12	大熊町	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来想定される原子力発電所における廃炉も視野に入れて」の部分について、衰退のイメージが連想されるので、表現方法について一考をお願いしたい。 　例えば、「原子力分野にとどまらず広い視野にたって」というようなもの。	○ご意見を踏まえて修正します。 　「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」
13	大熊町	3	65	15	第3章　ふくしまの基本方向	低炭素社会実現については、原子力発電の必要性と有効利用について世界的に見直されている状況から、原子力発電に関する表記も加える必要がある。	○中間整理案のとおりとします。 　本項目では、長期的に資源確保が困難な有限の資源に依存しないよう、再生可能エネルギーを中心に環境負荷の少ない社会への転換策を記載しておりますのでご理解願います。
14	双葉町	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来想定される原子力発電所における廃炉を視野に入れ」と記載がありますが、廃炉の表現は好ましくないものと考えます。 　この部分の表現を、例えば「低炭素電源の中核たる原子力発電所の活用をなくしては、今後のエネルギーの安定供給はもちろん、地球温暖化の対応は難しいものであり、国の原子力発電強化策を視野に入れ、」とすべきである。	○ご意見を踏まえて修正します。 　「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」
15	双葉町	3	51	9	第3章　ふくしまの基本方向	「新たな産業の誘致や育成を進める」と記載がありますが、それらに係る「人材育成」の記載も必要であると思います。 　例えば「新たな産業の誘致及びそれにかかる人材育成を進める」とすべきである。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　各種産業を支える人材の育成については、政策分野別の重点施策において、地域産業を力強く支えていくために多様な能力を育成することとしています。
16	双葉町	3	52	11	第3章　ふくしまの基本方向	「原子力発電所等立地の調整については、」の記載がありますが、増設も含むと解釈してもよろしいでしょうか。	○具体的な事実を想定しているものではなく、一般的な記述であります。
17	双葉町	6	125	8	第6章　地域別の重点施策（相双地域）	6相双地域 　②課題中 　「教育の充実による産業人材の育成・・」と記載がありますが、電源立地地域の特性を活かすのならば、例えば「教育の充実による原子力関連技術者などを含めた産業人材の育成」とすべきである。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　地域別の重点施策の課題における産業人材の育成については、ご指摘の趣旨も含めておりますので、ご理解願います。 　なお、政策分野別の重点施策においても電力関連企業で活躍する人材の育成に努めることとしています。
18	双葉町	6	125	17	第6章　地域別の重点施策（相双地域）	6相双地域 　②課題中 　「地域医療体制の確保など保健・医療・福祉サービスの充実を図る・・」の記載がありますが、地域医療体制の確保の確保については、医療機関の連携が必要不可欠に思うので、「・・・福祉サービスの充実及び医療機関の連携を図る必要があります。」とすべきである。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 　医療機関の連携については、保健・医療・福祉サービスの充実に含めておりますので、課題については現行のままとします。 　なお、「医療機関の連携」についての記載は必要であると考えられることから、重点施策において「医療機関の連携をはじめとする地域医療体制の充実・強化を図る」とします。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
19	双葉町	6	127	15	第6章　地域別の重点施策（相双地域）	④重点施策 　○安全で安心なくらしや交流を支える基盤の整備・充実 　記載内容を見ましたが、地域医療体制の充実、地域防災(海岸保全施設)、物流関係が主に記載されていますが、当地方が考えている有事、災害の際の緊急輸送・非難道路関係や地域医療の連携強化(中通り)を図るため記載があってもいいのではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　災害など不測の事態の対応については、政策分野別の重点施策において被災時における広域連携体制の構築を図ることとしています。
20	広野町	1	23	3	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	「近年、東北地方や北陸地方を震源とする地震が続いており、・・・・」の箇所であるが、標記的に「・・・・を震源とする地震が増加しており、・・・」の方が良いのではないか。 理由として、続いておりとの標記はどの程度の頻度なのか、あたかも印象的に継続して地震があるような印象を持たれるのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 　東北地方や北陸地方を震源とする地震があったという事実を記載しています。
21	小野町	2	37	33	第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「歴史的意義を有する発電所～」とありますが、福島県の電源地域としての歴史は確かにあるとは思いますが、歴史的というのはこれまでの流れからみるともっと長い歴史としてとらえるのがふさわしいかと感じ、違和感を覚えます。	○案のとおりとします。 　只見川の電源開発は、当時の電力事情の改善や県土の総合開発などの点から歴史的な意義を有するものと考えています。
22	小野町	2	43	13	第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「太陽光などの～」というのであれば、再生可能というのは違和感があります。廃棄物というのは飛躍しすぎでしょうが、再生可能というのであれば例示を増やした方が分かりやすいと思います。	○中間整理案のとおりとします。 　太陽光は再生可能エネルギーの代表的なものであることから記載しています。
23	小野町	3	58	23	第3章　ふくしまの基本方向	これからの感染症予防をうたうのであれば、現在の新型インフルエンザというような特定までは必要無いと思いますが、今後発生する可能性のある「新たな脅威」についても触れる必要があるのではないでしょうか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　ご指摘の内容は、「政策分野Ⅱ－2さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現」の「災害など不測の事態に対する備えについて」において、新型インフルエンザなど過去の延長線上の認識では対応が困難なリスクへの対応について記載しています。
24	小野町	3	63	12	第3章　ふくしまの基本方向	自殺というのは、あまり積極的に使用する言葉ではないと考えます。	○中間整理案のとおりとします。 　平成10年から自殺者が急増し、その後も高い水準が続いており、相談体制の強化などが重要であることから、特に記載しています。
25	小野町	0			その他（全体）	認知度の低い言葉については、注釈を付けた方がより理解しやすいと思います。	○意見を踏まえ、注釈または用語解説で補足説明します。
26	会津若松市	6	118	9	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域づくりに貢献する新たな観光の推進 「広域的なネットワーク形成」の関連として、 「阿賀川新橋梁及び国道118号若松西バイパスの整備」について追加 【理由・背景等】 　会津盆地は一級河川阿賀川により東西に分断されており、地域の中核都市である会津若松市と河沼郡・大沼郡は、本郷大橋・高田大橋・蟹川橋・会津大橋の4橋で連絡されておりますが、特に蟹川橋については、老朽化が著しく幅員も狭隘のため、冬期間には交通渋滞を引きおこし、通行自体に支障をきたしている状況にあります。 　国道49号（会津若松市町北町地内）から蟹川橋と会津大橋の中間地点を渡河し、主要地方道会津若松三島線（会津若松市北会津町蟹川地内）を結ぶ新たな橋梁の整備が望まれています。 　また、新橋梁路線との接続が予定されている国道118号若松西バイパスは、本市の外環状線としての機能を有し、市街地の交通渋滞の緩和や周辺町村から本市への円滑なアクセスの確保を図る上で非常に大きな役割を担っており、計画路線全線の早期完成が望まれています。 　阿賀川新橋梁及び国道118号若松西バイパスの整備は、会津地域における広域交通ネットワークの強化や産業・経済・文化の振興及び生活環境の向上、さらには地域の一体化や活性化に大きく寄与するものと期待されております。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　会津地域の課題において「広域ネットワークの形成とアクセス機能の強化を通じて、さまざまな主体の交流を促進する必要」がある旨を記載し、重点施策において「広域的なネットワーク形成による連携軸の強化」を図ることとしています。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
27	会津若松市	6	118	10	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域づくりに貢献する新たな観光の推進 「観光交流の推進」の関連として、 「会津地域が一体となった広域的な観光の振興（強化）」について追加 【理由・背景等】 　平成17年に実施した「福島県会津デスティネーションキャンペーン」を契機に、全会津17市町村が一体となり「極上の会津プロジェクト協議会」を組織し、首都圏でのキャラバンをはじめ、ガイドブックの効果的な配布、地元でのおもてなしなどにより、観光会津の知名度・魅力度アップに努めてきた経過にあります。 　昨年は、春から秋にかけての原油価格の高騰による自動車の利用控え、観光シーズンを目前にしての岩手・宮城内陸地震による東北地方全体への風評被害、さらには、世界的な金融危機に端を発した個人消費の落ち込みなど、地域経済に与える影響も大きなものがありました。 　会津若松市におきましても、観光客入込数が前年を下回る結果とはなりましたが、落ち込みの度合いを5％程度に止めることができましたのは、極上の会津プロジェクト協議会という、会津地域が一体となり、地道な誘客活動を継続的に行ってきた成果であると認識しております。 　会津地域には、磨けば光る観光資源がまだまだ豊富に存在しております。さらに本年３月２８日よりはETC休日特別割引が開始となり、これまでの事業効果に加え会津地域の観光事業への経済効果も期待できるものと考えており、福島県の観光客の更なる誘客にも会津は高い効果が発揮できるものと考えます。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　地域別の施策の展開方向において「豊かな観光資源や地域の魅力を生かした、広域観光」への取り組みを支援することとしています。 　また、県内の観光資源の連携については、政策分野別の重点施策に「県内各地域の観光資源の連携を進めるとともに、観光素材の発掘や商品化の支援や地域観光の核となる人材育成の推進などにより、ふくしまの新たな魅力づくりを図ります。」として新たに位置づけ、推進することとしました。
28	会津若松市	6	118	20	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域特性を生かした様々な交流の促進 「地域医療の充実」の関連として、 「会津若松看護専門学院の存続・充実と県立会津統合病院（仮称）への併設」について追加 【理由・背景等】 　会津地域は、他の地域と比較し、過疎化や高齢化が進み、医療機関の地域偏在化等も課題となっておりますが、会津若松市河東町十文字地区に整備が進められている県立会津統合病院（仮称）においては福島医大の附属化が決定し、地域住民は大きな期待を寄せているところであり、会津地域の中核病院として早期整備が望まれています。 　しかしながら、現在、県立会津総合病院と近接して設置されている会津若松看護専門学院については、「県立看護師等養成施設に関する懇談会」において、今後のあり方について報告がなされましたが、現時点では県の方針が示されていない状況であります。 　県立会津統合病院（仮称）附属病院化の基本的な考え方において、診療・教育・研究の3つを柱とするとされております。現在、県立会津若松看護専門学院は、正看護師養成におきまして高度な知識と技能を習得できる教育の場として、会津地域はもとより県内各地から学生が入学しているところであり、会津総合病院において実習を行っていることから看護専門学院の存続と充実を図るとともに会津統合病院（仮称）への併設が望まれています。	○中間整理案のとおりとします。 　会津統合病院や若松看護専門学院のあり方については、現在検討中であることから案のとおりとします。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
29	会津若松市	6	118	25	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興 「産学連携」の関連として、 「産学民官連携推進による新産業創出の推進」について追加 　併せて、「産学（連携）」や「産学民官（連携）」など、全体的な用語の使い方の整理 【理由・背景等】 　新商品を開発する期間や企業間競争が激化するなか、1社単独で技術を磨き、新事業や新商品の開発を展開することは困難であります。このため大学等との連携によって技術開発や新事業創出等を目指す仕組みづくりが不可欠であり、中小企業者と大学の技術シーズをマッチングすることで、地域企業の競争力強化を図る必要があります。 　また、地域産業の創出を図るため、インキュベーション施設の増設やレンタルオフィスの整備が望まれています。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　地域別の施策の展開方向において「会津大学等との産学連携、企業連携等を活用する」旨記載し、重点施策において、産学連携、企業連携などの多種多様なネットワーク組織を支援することにより、産業集積のための基盤づくりを推進することとしています。 　また、政策分野別の重点施策においても、企業間の連携、産学官民の連携を推進し、県内企業の技術力向上を支援するとともに、県内発の競争力のある企業、産業の育成を進めることとしています。 　なお、「産学連携」については「産学官連携」とします。
30	会津若松市	6	119	5	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興 「農商工連携の推進」の関連として、 「地域外企業との連携機会の創出」について追加 【理由・背景等】 　現在の多様化したマーケットに的確な対応をしていくためには、農業と商工業の連携に加え、地域外企業との連携機会の創出が必要であり、そのことにより、ビジネスチャンスは飛躍的に広がり、経済活動の活発化と地域経済の活性化が図られると考えます。	○ご指摘の趣旨は中間整理でも触れています。 　地域別の施策の展開方向において「企業連携等を活用する」旨記載し、その趣旨を含めています。また、重点施策で、企業連携などの多種多様なネットワーク組織を支援することとしています
31	会津若松市	6	119	6	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興 「職業能力開発」のほか、広い意味での人材の育成の観点から、 「中高大連携（一貫）教育の推進」について追加 【理由・背景等】 　会津学鳳高校においては県内唯一の併設型公立中高一貫教育を行っており、今後、近隣する県立会津大学との連携（一貫教育）を推進することにより、当地域における特色ある教育が実現されるとともに、優位な人材の育成が図られると考えます。	○中間整理案のとおりとします。 　人材の育成については、政策分野別の重点施策において「産業を支える多彩な人々の活躍」に位置づけており、また、子どもたちの育成についても、豊かなこころ、健やかな体の育成、確かな学力の育成とキャリア教育の推進を図ることとしていますのでご理解願います。
32	会津若松市	6	119	14	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　自然環境、景観、文化の保全・継承と活用 「地域に伝わる伝統・文化・技術等の保存・継承」の関連として、 「県内における武道競技振興の拠点となる施設設備（会津地方に県営武道館（武道専門競技施設））の整備」について追加 【理由・背景等】 　会津地域は藩政の日新館教育により、文武教育を実践してきた地域であります。 　現在においてもなお、脈々と「剣道」「柔道」「弓道」「なぎなた」をはじめとする様々な武道が幼児から高齢者まで幅広く実践され、生涯スポーツとして地域に根ざしています。 　また、このたびの中学校学習指導要領の改訂により平成23年度より必修科目に位置づけられ、改めて武道を通した教育の重要性を認識しているところであります。 　こうした流れの中で、文武教育を実践してきた当地域に県営武道館が建設されることは、本県のスポーツ・文化活動のシンボルとして位置づけられるとともに、県内の武道振興に寄与するものと思われます。 　また、全国レベルの各種大会の誘致が可能となり、地域経済の活性化にも大きく貢献するものと考えます。	○中間整理案のとおりとします。 　文化・スポーツの振興については、政策分野別の重点施策において、あらゆる人が身近に文化・スポーツ活動に触れ親しむことができるようにすることとしておりますが、ご指摘の点については諸情勢を勘案し、今後も調査・研究してまいります。

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
33	会津若松市	6	116 118		第6章　地域別の重点施策（会津地域）	「会津縦貫北道路」および「会津縦貫南道路」について、「会津縦貫道」との名称の整理 【理由・背景等】 　去る7月27日に開催されました道路名称選定委員会において、「会津縦貫道」を道路名称として使用することとなりました。 　つきましては、道路名称の表記について、整理が必要と考えます。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 「会津縦貫道（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）」